

1-5 アルコ Arco

アルコの岩場はロックマスターの開催地として非常に有名である(毎年9月第2土、日曜日開催)

しかしコンペばかりがアルコではない。なによりもベースとなるアルコの街がとても魅力的なのである。世界中でクライミングがこれほど理解されている町もめずらしい。かわいらしい商店街はあちこちでトポが販売され、クライミングショップだけで4件もある。人々はみな陽気である。クライマーが集まる街の広場のカフェ、トレンチーノは歴代のロックマスター優勝者のポスターやシャツが飾ってあってコメントが書かれている。もちろんユージもある。さらに、ピザ、パスタといった食べ物もおいしくクライミング以外でも十分楽しい。

ここはヨーロッパでは珍しく車なしでもクライミングツアーが楽しめる岩場でもある。

ミラノの飛行場から電車とバスを乗り継げば、アルコの街へ来ることができる。

町外れにあるキャンプ場からメインの岩場のマッソーネまでも徒歩 20

分ほどである。このキャンプ場には世界中からクライマーが集まっているので友人になればクルマに乗せてもらうことも可能だろう。免許のないグループや学生にもお勧めの岩場だ。

岩場は5, 11, 5, 12 クラスが充実している。しかしユージが初登したアンダーグラウンド(6.14c/d)を有する高難度エリアもあり、長期間の滞在でも十分楽しめる。エリアの数も20以上ありそれぞれ好みに合わせて選べる。ヨーロッパの中でも、一番お勧めできるエリアのひとつである。

岩質

石灰岩。

ルート

エリアの数は20以上ある。私は4箇所ほどのエリアを回ったがほとんどのエリアが垂直から薄かぶりである。さらにエリアによっては当たりはずれがあり、アプローチがかなり難しい所もある。また数ピッチのロングルートも多くある。

そこで今回はアルコのメインエリアであるマッソーネの岩場を紹介したい。マッソーネの岩場は街から歩いて行くことが出来る距離にある。車の場合、駐車スペースがきちんととめていないとレッカー移動させられる。こんな所が駐車禁止かと思うようなオリーブ畑の中。私たちは捕まり罰金79000L払わされた。

メインエリア

周りはオリーブ畑に囲まれていてとても気持ちが良い。岩場の高さは25メートル、幅は100メートル程ある。ここはカチカチした垂直から薄かぶりのフェースでとても登りやすい。所々コルネの発達した所もある。左端には子供でも登れる5.6位の壁から5.11までルートも充実している。グレードも5, 11台が、一番多く、ボルトも最近打ちかえられて安心できる。アルコが初めてでならまずここが良い。ただしエルトー程ではないがスタンスが百万人化(あまりに登られているためスタンスがつかうつで非常に滑る)していて結構すべる。南面で昼過ぎから日が陰る。

奥のエリア

マッソーネのパーキングからまっすぐ小道を3分程登ると壁の基部に着く。ここはかなりの長い壁で30-40メートル程ある。全体的に緩く前傾している。コルネも発達している。長いだけあって、ムーブよりは持久力を試されるルートが多く5.12台のルートが20本以上並んでいる。個人的にはお勧めのエリアである。メインエリアよりは早く日が陰る。少々の雨ならOK。

最上部のエリア

奥のエリアからさらに2-3分行くと岩場の下部が砕石場跡になっている所に着く。このエリアはかなりの前傾していて、5.13台だけで軽



<1 ダース以上ある。碎石場の部分にもモルトが設定されているがその傾斜はとんでもない(見るだけでも価値がある)。ユージの初登したアンダーグラウンド(5.14c/d)はここにある。南面だが対岸の山に日が隠れて早くから日が陰る。雨でも全く問題無い。

宿泊

アルコの街にはアルコキャンプとZOO キャンピングがあるがここではアルコキャンプを紹介する。キャンプ場内は売店、ロッジ、シャワー、コインランドリーなどがありきれいでとても快適である。また、イタリアは治安が悪いイメージがあるがセキュリティはしっかりしている。出入りも磁気カードで行う。アルコの街にも10分程で歩いて行ける。また、入り口には室内ボリダー(有料)もある。街にはホテルは幾つかある。しかし3星以上で、アメリカにあるようなモテルはない。予算に余裕があればアパートを借りるのもよい。1週間単位で1日4,000円くらいからある。アパートは街のインフォメーションに行けば紹介してくれる。

シーズン

場所を選べば1年中OK。ベストシーズンは春と秋。山間に位置するので厳冬のキャンプは相当つらいだろう。10月でも岩場も晴れていると暑いくらいだが、曇るとダウンベストを着込んでも寒いくらいであった。逆に真夏は日が陰るまでの時間は暑くて登れないうだろう。

ショッピング トボ

アルコの街だけで必要な物はすべてそろそろ。マウンテンショップだけで4軒もあり、それぞれ特色が違うので面白い。トボは2年くらいで新しい物に変わっている。小さな売店など、アルコの町ならどこでも手に入る。

アプローチ

ここではミラからを紹介する。ミラから高速4号線にてBERONA方面へ向かいIGARUDA湖を目指す。途中BRESCIAの街を過ぎ、一般道45号でTORENTOを目指し、ガルダ湖を過ぎて少し走るとARCOの街に着く。ミラからは約3時間。

レスト

アルコの街をレストの日には散歩するとよい。ここはとても魅力的である。好みはあると思うが食べ物がとてもおいしい。ピザ、パスタ、ジェラートなどどれもおいしい。変わった所ではポレン(北イタリアの家庭料理)とここの店によって味が違うので色々試してみるのがよい。ピザはマツナーネの、岩場の下にある店がうまい。その他カフェでゆっくりと時間を過ごすのもよい。ちなみイタリアのレストランでは本来ピザ、パスタは前菜になる。通常前菜でどちらかを頼み、次にメインディッシュが出てきて、最後にデザートといり取りになる。この通りにやると次の日のクライミングに差し支えるので、前菜であるパスタやピザをだけを頼んで、お代わりをしても全く問題無い。ここはクライマーが世界中からやってくる街なのだ。多くの人もこうしている。

クライミングギアも安く有名だ。ここで1年分のギアを買いためしていくクライマーもいる。4軒あるクライミングショップをまわってお気に入りの物を手に入るとよいだろう。

数多くの岩場があるのでレストの日に見て回るのもよいが、マツナーネ以外は傾斜があまりないので触手がわからなかった。2日間以上のレストを考えるなら、自然派ならトロピカ方面へのドライブ、ハイキング。街派ならミラやベニスも行くことが可能だ。ただしベニスはとってお金がかかるのでそのつもりで。